

授業科目名	観光調査・分析法	科目コード	G2102L04
英文名	Tourism Field Investigation and Analysis		

科目区分	観光専攻科目 - 観光基礎		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	助重 雄久
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この授業では観光調査をするために必要な基礎的手法を学んだのち、現地でフィールドワーク(観光客への対面アンケート調査等)を実施する。その後、調査結果を検討・分析し、図・グラフ等を交えた報告書を作成する。本年度のフィールドワークは11月の土・日曜日に石川県の加賀温泉郷で実施する予定(実施地は、新型コロナウイルスの感染拡大状況や現地の受け入れ可否により変更する場合もある)。			
-------	---	--	--	--

キーワード	フィールドワーク	データ分析	報告書作成	Microsoft Excel
-------	----------	-------	-------	-----------------

到達目標	自分の足で観光地を歩き、自分の目で観察し、自分の耳で観光客や地元の方の話を聞くことで、観光地の現状や問題点を把握することができる。			
	他の学生と協力しながら、一つのプロジェクトを推進していくことができる。			
	Microsoft Excelでデータを整理・分析し、図・グラフ等を交えた調査報告書を作成することができる。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、宿泊人数・バス乗車人数の確認の調整 必ず出席すること。欠席した場合は原則として登録を認めない。 バスの乗車人数や宿泊可能人数を超過した場合は、人数を調整することがある。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	観光調査の基礎、対面式アンケート調査のテクニック	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第3回	調査項目設定、スケジュールの検討	
	【予習】 坂井市や東尋坊の地域概要と、主要観光スポット、観光の概況(統計等)について下調べをしておくこと。	60分
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第4回	調査票・依頼状のフォーマット作成	
	【予習】 坂井市や東尋坊の地域概要と、主要観光スポット、観光の概況(統計等)について下調べをしておくこと。	60分
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第5回	調査票・依頼状・調査用具の準備、フィールドワークの最終説明	
	【予習】	
	【復習】 調査内容を再確認しておくこと。	30分
第6回	フィールドワーク(対面式アンケート調査等) 1泊2日。通常授業の4回分に相当する。参加しなかった場合は単位を修得できない。	
	【予習】 フィールドワーク当日に向けて、調査用具等必要な持ち物を準備し、アンケート用紙の内容を確認しておくこと。	60分
	【復習】	
第7回	現地収集データの整理、入力(Excel使用)	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	30分
第8回	現地収集データの集計(Excel使用)	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分

第9回	現地収集データの集計・分析(Excel使用)	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第10回	調査結果を示すための図表作成(Excel使用)	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第11回	報告書・報告用プレゼンの作成(Word、Powerpoint使用)	
	【予習】	
	【復習】 報告書がまとまっていない学生は、次週に提出できるようまとめておくこと。	120分
第12回	報告書の仕上げ・提出、授業アンケート	
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	フィールド・ワークに取り組む姿勢(到達目標 : 25点)、事前・事後指導の受講態度および他の学生との協力状況(到達目標 : 25点)、調査報告書の内容(到達目標 : 50点)。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【注意】調査・分析・作業・報告書(レポート)による評価なので、再試験は実施しない。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：15%、 社会性：20%、 専門性：65%		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて資料を配布する。データはファイルでやりとりするので、USBフラッシュ	使用資料 <参考図書>	事前準備の際に随時紹介する。
授業外学修等	・フィールドワーク参加費用(宿泊費と傷害保険加入料等)は自己負担とする。 ・現地に行く前に、加賀温泉郷とその近辺の観光地について、文献や関連ホームページで下調べしておくこと。 受講にあたっての注意 この授業は土・日曜日に実施する1泊2日のフィールド・ワークと、教室での事前・事後指導(計11回)からなる。すべてに参		
授業外質問方法	・研究室で随時受けつける(授業・会議・出張等で不在の時間帯を除く)。 ・Eメール(t-suke@tuins.ac.jp)でも受けつける。Eメールの場合は件名と発信者の名前を明記すること。		
オフィス・アワー	木曜 12:45-14:00 研究室		